

予算  
議会  
3月3日

# 市民のくらし第一に転換を

## 日本共産党が代表質問



代表質問をおこなう星野市議（3月3日）



生活保護世帯の下水道料減免廃止の中止を訴えるひえじま・倉元・綿貫市議ら（2月）

### 国保料引き下げ、貧困対策、住宅リフォーム助成…ムダな開発やめ、市民のくらし応援の地域循環型経済へ

高島市長は、人工島事業推進に新年度予算で86億円もつぎこむ他、数千億円規模のウォーターフロント地区再整備や「天神ビッグバン」などムダな大型開発をすすめています。星野市議はこうしたムダな開発をやめて、市民にも、給付制奨学金創設、

中3までの医療費完全無料化、貧困率の削減目標設定を求めました。



就学援助切り下げやめよの請願で市民と懇談する熊谷・中山・綿貫市議ら（昨年12月）

3月3日、福岡市の予算議会で日本共産党の星野美恵子市議団長が代表質問に立ちました。星野市議は、戦争法や消費税増税、原発再稼働など暴走をつづける安倍政権、それに追従する高島市長を厳しく追及し、市民のくらし第一に転換するよう迫りました。

### 戦争法、消費税増税、原発…安倍政権にモノいわぬ高島市長

星野市議は、戦争法について「立憲主義に反し、福岡市も無法な米国の戦争に協力させられる」として廃止を求めよう迫りました。また、星野市議は消費税の10%への増税についても「くらしを冷え込ませ、景気を悪化させる」として中止の声を上げるよう求めました。

高島市長は戦争法を「国会の審議を経て成立したものと答え、廃止を求めず、安倍政権に追従する姿勢を示しました。さらに原発再稼働ストップ、TPP批准中止などを市長として国に求めるよう提案しました。



# 子どもの通院医療費助成に自己負担導入!?!

## 中3まで完全無料へがんばります

この案は3月25日までの予算議会でも審議されています。「中学3年まで医療費無料化をすすめる会」が集めた6万8千筆の署名の願いにこたえ、共産党は入通院ともに中3まで完全無料にするため、がんばります。

高島市長は新年度予算案を発表し、そのなかで、通院への助成を10月から小学校6年生にまで対象を広げると同時に、「持続可能な制度にするため」という理由で、自己負担導入を提案しました。

診療科ごとに月額で、3歳から就学前までは今の無料から600円、新たに助成対象になる小学生は1200円を上限に窓口で支払われます。

たとえば3歳から就学前の子は同じ月に小児科にかかれば600円、耳鼻科にかかればまた600円、歯医者にかかればまた600円、合計1800円の負担をすることになります。

さらに、たとえば1月29日に病気になって600円払い、2月1日に再度受診するとまた600円払うことに…。「数日がまんしなさい」などの受診抑制がおきる危険があります。



3歳～就学前

600円



小学生

1200円

助成対象を小6まで広げたが…診療科ごとに毎月かかる

日本共産党  
福岡市議団

# 5分短縮のために500億円!?

## 空港への高速延伸やめよ



福岡市の資料より (●●●●の部分が道路計画)

**共産党  
が追及**

日本共産党の星野美恵子市議は、2016年2月18日、議案質疑に立ち、福岡空港への高速道路延伸の問題について高島市長を追及しました。

**国内線の旅客数はふえないのに…**

同議案は福岡空港の国内線ターミナルへの高速道路の延伸に関連するものです。

星野市議は、国内線については今後も旅客数が横ばい・減少をしていくという国の予測と、

**軟弱地盤、浸水、雨水流入の危険**

さらに、トンネル方式工法が計画されている事実をとりあげ、軟弱地盤の問題、浸水、雨水流入などの危険があることを指摘しました。

事業費についても、短縮効果がかかわらず、500億円もつき

**市長「しっかりと進める」と無反省**

星野市議は、「渋滞解消という理由も成り立たない。不要不急だ。税金の使い道がまったく間違っている」とのべて、延伸計画の中止、議案の撤回を市長に迫りました。

高島市長は「延伸にむけたとりにくみをしっかりと進めてまいりたい」とのべ、あくまでこの

実際に10年前よりも減少している実績を示して、空港への自動車利用が増えるかのような市の言い分は成り立たないと批判しました。

込むことが明らかに(市からの税金投入額は不明)。しかも、これまで市がすすめてきた高速道路の工事では、当初計画から4倍以上にふくれあがっていた事実があると述べました。

ムダづかいを進める姿勢をあらわにしました。



2月議会で堀内市議も空港への高速道路延伸などについての反対討論をしました(2月)

# 教室の暖房使用認めよ

**エアコンあるのに使わせない!?**



追及する倉元市議(2月18日)

1月23〜25日にかけて福岡市など九州北部は記録的な寒波に…

日本共産党の倉元達朗市議は、学校教室にエアコンがあるのに暖房使用を認めない市教育委員会の方針をあらため、暖房使用などを認めるよう2月18日市議会を追及しました。

**「衣服で調整が可能」!?**

市内の小中学校にはエアコンがすでに設置されていますが(中学校は今年夏設置予定)、市教委は電気代などを理由に「衣服による調整が可能」として暖房使用を認めていません。また、実際には多くの学校現場で授業中の防寒着の着用も認められていません。

**ネットでも話題に**

このご時代に暖房がないって…

こんな、当たり前の配慮すら出来ない教育現場があること自体、信じ難いです!

おかしすぎます!しかもこの寒波ですよ。四の五の言わずにつけりゃいいですよ!

**国の基準も10℃以上**

教室は2℃になる寒い日もありますが、文部科学省の学校環境衛生基準は教室の温度は「10℃以上が望ましい」としており、市教委の姿勢はこの法令にもそむくものです。

**インフルエンザ対策にも不可欠**

倉元市議は、これらの点を市議会を追及。今年、警報レベルとなったインフルエンザ予防の点でも暖房は不可欠であることも指摘しました。

さらに、文科省が「児童生徒等に生理的、心理的に負担をかけない最も学習に望ましい条件は、冬期で18〜20℃」としていることも示し、暖房使用を迫りました。教育長は、どんなに寒くても暖房は使わせないという異常な立場にしがみつきました。

**生活相談は☎(711)4734にどうぞ**



星野美恵子  
団長(中央区)



中山いくみ  
幹事長(早良区)



ひえじま俊和  
市議(博多区)



倉元達朗  
市議(城南区)



熊谷敦子  
市議(西区)



綿貫英彦  
市議(東区)



堀内徹夫  
市議(南区)